人 材 育 成 セ ミ ナ ー

映文連 TANPEN塾

集中講座（5回シリーズ）

2016年1月27日～2月24日（毎週水曜日）19時～21時30分

ご好評をいただいた「映文連 TANPEN塾」の第4弾。今日のメディア状況を踏まえながら、これから映像業界で活躍する人材育成をめざす講座です。業界で活躍する講師陣をお招きし、短編（TANPEN）映像に関して、様々な角度から映像のつくり方を伝授します。1回の講義に2名の講師を組み合わせ、多彩なカリキュラム。これから業界へ入る学生や制作プロダクションで働く若手制作者は勿論のこと、経験を積んだ人も聞きたくなる、創作の極意やプロデュースの秘訣を知ることができる講座内容となっています。

第1回

2016年1月27日（水）19:00～21:30
会場：（株）クリーク・アンド・リバー社　2F ホール（千代田区麹町2-10-9）



第1部『広告アイデアをどう生み出すか ～ブレークスルーの思考法』

Kentaro Kimura / 木村 健太郎（㈱博報堂ケトル 代表取締役共同CEO エグゼクティブクリエイティブディレクター）

2006年に博報堂ケトルを設立。従来の広告手法にとらわれない「手口ニュートラル」というコンセプトで、アイデアを沸かして世の中を沸騰させるコミュニケーションを提案・実施している氏が、企画、戦略、アイデアを練っているときに誰もがぶつかる思考の壁をブレイクスルーするにはどうすればいいのかを語る。



第2部『「広告×データ」の可能性』

Kaoru Sugano / 菅野 薫（㈱電通 CDC局 クリエーティブ・ディレクター／クリエーティブ・テクノロジスト）

「Sound of Honda/Ayrton Senna1989」「太田雄貴 Fencing Visualized」など、データとテクノロジーを自在に融合させ、人々に新しい感動を与える手法は、広告クリエーティブに新たな歴史を刻んだとも言われている。広告とデータの融合の可能性について語る。2014年JAAAクリエーター・オブ・ザ・イヤー他、受賞多数。

※毎回講義のあと対談（質疑応答）があります（30分）

募　集　人　員：40名（申込み先着順、定員の都合上、全コース申込みを優先いたします）
受　講　料：5回全コース会員30,000円（税別）、一般35,000円、1回券会員7,000円、一般8,000円
問い合わせ・申込先：〒103-0016　東京都中央区日本橋小網町17-18　藤和日本橋小網町ビル7階
（公社）映像文化製作者連盟（TEL:03-3662-0236 / FAX:03-3662-0238）
申　込　み　方　法：申込み欄（裏面）に必要事項をご記入のうえ、FAX又はE-mailでお送りください。
申込み後、受講料の振込先をご連絡します。お振込の確認後、受講券をお送りいたします。

主催　公益社団法人 映像文化製作者連盟

第2回　2016年2月3日（水）



第1部　『スマホが連れてきた映像新時代』

Yasunori Iwamoto / 岩元 康訓　（映像作家 岩元映像製作事務所）

iPhone6で撮影されたパプアニューギニアの迫力ある動画が注目を集めている。iPhone6にはスローモーションやタイムラプスなどの機能がついており、これまで高価な機材でしか撮れなかった映像も簡単に撮ることができる。主に自然系や音楽系の映像作品、TV番組やCMを手掛けてきた氏にスマートフォンによる映像表現の可能性について聞く。



第2部　『縦型動画プロモーションの可能性』

Kazuhiro Sunada / 砂田 和宏（デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム㈱ プロデューサー）& **Takumi Ougiya / 扇谷 卓見**（㈱博報堂アイ・スタジオ プロデューサー）

スマートフォンなどの普及により、今や6割の人がタテ型の映像を見る時代。この秋、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社が中心となり、数社でスマートフォン向け映像のプロデュース、制作、メディアプランニング等をワンストップで提供する新サービスが開始された。縦型動画プロモーションの可能性について聞く。

第3回　2016年2月10日（水）



第1部　『見る人の「体験」をデザインする』

Yuichiro Narita / 成田裕一郎　（㈱キャップアソシエーション クリエイティブディレクター）

23本の短編映像「Kawasaki Ninja H2 ティザームービー」で、映文連アワード2015経済産業大臣賞を受賞。世界で2か月間に700万回も再生され、実車の販売にも大きな効果をもたらした。この成功の要因は、戦略的な「エクスペリエンスデザイン」にあるという。購買者の「背中を押す」秘訣を聞く。



第2部　『落雷と情熱で作り上げられるブランドCM』

Katsunori Yasuhara / 安原克典　（㈱電通 プロモーション・デザイン局 プランナー）

約1000本のバナナを使った世界初のバナナアニメーションCM『BANANART ANIMATION』で映文連アワード 2015審査員特別賞を受賞。商品ブランドと消費者をつなぐアイディアをどのようにして生み、カタチにしていけばいいのか。バナナをアート化させ再注目させようというユニークな仕掛けについて語る。

第4回　2016年2月17日（水）



第1部　『動画配信メディアと動画配信プラットフォームの違いとは?』

Hidetomo Handa / 半田 英智　（㈱GYAO取締役 兼 営業本部長、ヤフー㈱ マーケティングソリューションカンバニー ビデオ広告営業責任者）

ヤフーと協力して運営する無料映像配信サービス「GYAO!」を大幅に刷新。「良質な作品を、無料で提供する」という価値を「PLAY FREE」という新たなタグラインに込め、TVCMを中心としたプロモーションを展開。無料プラットフォームのビジネス展開について語ってもらう。



第2部　『テレビと動画配信サービスのこれから』

Takeshi Shimokawa / 下川 猛　（㈱フジテレビジョン コンテンツ事業局 コンテンツデザイン部 サービスデザイン担当）

マーチャンダイジング、動画配信（フジテレビオンデマンド）、オリジナルSNS開発などのプロジェクトを担当し、2013年編成部へ。にっぽんのミンイ/ボーカロイド歌謡祭/THE LAST AWARD/THE BRAINSTORMINGなどのデジタル連動企画をプロデュース。現在は、デジタル領域のオリジナルコンテンツ制作やサービスデザインを担当。テレビ局、テレビ局の動画配信サービスの未来像などについて語る。

第5回　2016年2月24日（水）



第1部　『空間を取り込んだ映像表現』

Yuji Hariu / 針生 悠伺　（㈱P.I.C.S. ディレクター）& **Sangkeun Han / ハン サングン**　（㈱P.I.C.S.プロデューサー）

東京ビッグサイト会議棟の巨大な壁面に投影したプロジェクションマッピング映像『MUSICAL CLOCK』を演出。映文連アワード2015優秀企画賞を受賞した『New Camry Dynamic but Gentle Atlantic Road』では4面スクリーンを使用し臨場感のある大型映像を演出。空間を取り込んだ映像演出について語る。



第2部　『映像デバイスとともに進化していく新たな映像表現』

Shinichi Yamamoto / 山本 信一　（㈱オムニバス・ジャパン　クリエイティブディレクター）

企画コンセプトからデジタル機材でプランイメージを提案し、数々のイベントの大型マルチ映像を手掛けてきた同氏が有機ELを発光デバイスとした大型地球ディスプレイ「ジオ コスモス」用コンテンツを制作した。従来の平面ディスプレイから進化した映像デバイスである球体ディスプレイを通しての新たな映像表現の開拓と今後の新しい可能性について語る。

申　込　書

映文連 TANPEN塾
人材育成セミナー

会社名

ふりがな
氏　名

住　所

受講希望コース
□ 全5回コース　　名　□ 1回券 第（　　）回　　名

電話番号　　FAX　　E-mail

FAX : 03-3662-0238 / E-mail : info@eibunren.or.jp